

大人のトロピカルなジャズサウンドで秋の一夜を…



THE TRIO ALDEMARO ROMERO & CARMELA RAMIREZ

南米ベネズエラからジャズ・ピアノトリオ&女性ボーカルが来豊

平成 26 年度豊橋文化祭協賛行事
ベネズエラ文化週間 2014 in とよはし

2014.11.6 (木) 18:30 開演 (18:00 開場)
穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

入場料 ● 1,500 円 (全自由席)

● チケット取扱い プラットチケットセンター 0532-39-3090 (10:00~19:00 休館日を除く)
8月20日 <http://toyohashi-at.jp> (24 時間受付・要事前登録)
発売開始 豊橋市国際交流協会・オリエント楽器豊橋店 (開発ビル 1F)


Gobierno
Bolivariano
de Venezuela

■ 主催 / プエンテリコ・ベネズエラ ■ 共催 / 駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館
■ 後援 / 豊橋市・(公財) 豊橋市国際交流協会・(公財) 豊橋文化振興財団
問合せ ● プエンテリコ・ベネズエラ 事務局 s_sato@mx1.tees.ne.jp (佐藤)

THE TRIO ALDEMARO ROMERO

トリオ・アルデマロ・ロメロ

ベネズエラ国内で輝かしい経歴をもつ 3 人の卓越した音楽家から成るピアノ・トリオが来日し、巨匠アルデマロ・ロメロ(1928-2007)のポップス、中でもリズム・ミュージックの作品「オンダ・ヌエバ(ONDA NUEVA、ニューウェーブ)」に敬意を表し、日本公演を行う。

オンダ・ヌエバは、1968 年に巨匠ロメロが「ベネズエラのホローポ」を元に、ジャズやボサノバの要素を組み合わせで発展させた。ベネズエラの典型的なfolklore・グループで使われるアルパ、クアトロ、マラカスをアーバン・ジャズで使われるピアノ、ベース、ドラムに置き換え、アーバン・ミュージックに変革を起こした。

ロメロは、音楽家、作曲家、編曲家、オーケストラ・ディレクターであり、アーティストとして大成功を収め、ベネズエラ、メキシコ、スペインイタリアで 15 枚以上のレコードを発表した。彼の音楽は、その南国的でロマンチックなリズムで大

勢のファンを獲得し、ヨーロッパやアメリカのみならずアジア諸国でも、各国の著名なアーティストにより演奏されてきた。

優れたベーシストで、巨匠ロメロと何度も共演経験のあるグスタボ・カルシーは、ピアニストであるペドリト・ロペスを招いて、この新グループを結成。20 年近く巨匠ロメロの伴奏ピアニストであったペドリトにとって、この演目は十八番ともいべきもの。そして、この 2 人が揃ってドラムに指名したのがオンダ・ヌエバに造詣の深い演奏家ミゲル・デ・ビンセンソである。

今回の来日公演では、ロメロが愛し、ベネズエラのアーバン・ミュージックの響きに一大革命をもたらした「ジャズ・トリオ」の形式を維持しながら、オンダ・ヌエバの黄金時代にロメロが作曲した作品を華麗で才能あふれる女性シンガー、カルメラ・ラミレスとともに披露し、日本の聴衆を魅了するであろう。



Carmela Ramirez

Pedrito Lopez

Gustavo Caruci

Miguel de Vincenzo

Gustavo Caruci

グスタボ・カルシー (ギター、ベース)

卓越した音楽家で、ベーシスト、ギタリスト、編曲家、音楽プロデューサーとして際立ったキャリアをもつ。ベーシストとして 25 年以上ロメロと共演。また、国際的に活躍する多くの演奏家と共演している。音楽プロデュース分野では、経験豊富なベネズエラ人音楽プロデューサーの一人として、幅広い作品を制作し、「年間最高編曲者賞」に 2 度ノミネートされている。彼は、イラン・チェスターのために 6 枚組 CD「ベネズエラ音楽の至宝」の中の「ララ」を制作し、2010 年ラテングラミー賞を受賞した。現在、バイオリニストのエディ・マルカーノと共に、彼の四重奏団の音楽ディレクターとしてコラボレーションし、ベネズエラ内外やニューヨークのカーネギーホールをはじめとする名門ホールにおいて多くのコンサートを行っている。

Pedrito Lopez

ペドリト・ロペス (ピアノ)

ベネズエラ人音楽家で同世代から尊敬を集める最高の人物。多彩なピアニスト、キーボード奏者で、音楽ディレクター交響楽及び軽音楽オーケストラの編曲家、作曲家、レコード制作者であり、興業プロデューサーである。約 20 年間ロメロの伴奏ピアニストとして演奏。多くの著名な国際的アーティストとの共演や音楽ディレクターを務めた。これまでに 400 回以上のレコーディングに参加し、レコード制作者として様々なアーティストと 30 枚のアルバムを制作。18 年間プロの編曲者として 400 曲以上のオーケストラ用の編曲は、大多数の国内交響楽団から委託を受けての特別編曲であり、ベネズエラ交響楽団と共に 60 以上のコンサートで客演指揮を務めた。

Miguel de Vincenzo

ミゲル・デ・ビンセンソ (ドラム)

カラカス生まれのドラム奏者として音楽面で幅広い経歴を持っている。リノ・ガジャルド音楽学校で優秀な成績を修め、同時にベネズエラのシモン・ボリバル大学で建築学の学位を取得。これまで多くのミュージシャンとのセッションにドラマーとして共演。レコーディング及びライブ演奏の売れっ子ドラマーでもあり、ドラムとパーカッションの著名な教師でもある。

Carmela Ramirez

カルメラ・ラミレス (ボーカル)

ベネズエラの若手歌手を代表する彼女は、1990 年音楽家の両親のもとにカラカスで生まれた。9 歳でベネズエラ児童青少年オーケストラ・合唱団「エル・システム」に入り、音楽を始めた。13 歳でピオラ奏者としてオーケストと協演。その後カラカス・ユースオーケストラに入団。15 歳で声楽を学ぶ。現在、シモン・ボリバル・ビッグバンド・ジャズの歌手養成プログラムに在籍するのみならず、多くの音楽家と共演している。パルクシメト・ジャズ・フェスティバルで奨学金を獲得し、ブラジル・クリチバを訪問。また、多くのベネズエラ人音楽家と共に精力的に CD 制作に参加している。オトマロ・ルイズ(ピアニスト・作曲家・編曲家)は、彼女を「私が出会った中で最も才能ある歌手、音楽家の一人」と称している。

■ 徳の国とよはし芸術劇場 PLAT へのご案内 ■

豊橋駅(JR 東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩 3 分。

※駐車場はございません。公共交通機関やお近くの公共駐車場等をご利用ください。豊橋駅前大通公共駐車場(第 1・第 2)・パーク 500 をご利用の場合、駐車料金が 30 分 150 円から 30 分 100 円に割引(上限 4 時間)になります。

この演奏会は、駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館の全面的なご協力により、「ベネズエラ文化週間 2014」事業の一環として、豊橋で開催されます。音楽を通じてベネズエラ・日本両国の交流が深まり、絆が一層強まることを願い、2005 年「愛・地球博」フレンドシップ事業によって誕生した市民交流団体 プエンテリコ・ベネズエラ (会長:大塚昌代)が豊橋の皆様にお届けします。